

福知山市議会「新政会」 行政視察研修報告書

- 1 視察日程 令和元年11月7日（木）～8日（金）

- 2 視察先及び調査項目
 - (1) 福井県勝山市
「子育て支援日本一の取り組みについて」
 - (2) 福井県大野市
「有害鳥獣対策について」

- 3 参加委員
中嶋 守、柴田 実、芦田眞弘、田渕裕二、大槻泰徳
藤本喜章、尾嶋厚美（7名）

- 4 視察経費 総額 174,980円（1人あたり 24,997円）

- 5 調査報告
別紙のとおり

視 察 日	令和元年 1 1 月 7 日 (木)
視 察 先	福井県勝山市 人口 22,654 人 (令和元年 1 1 月 7 日現在) 市面積 253.88 km ² 議員定数 16 人
調査項目 施策・取組等	子育て支援日本一の取り組みについて
視察理由 事前研究等の 概要とそれに 基づく調査項 目・視察先の 選定理由等	「子育てするなら勝山市」「子育て支援日本一」を方針として掲げられたのはいつなのか。また最大のアピールポイントは何か。
調査概要 調査項目の施 策・取組等の 実施状況等	市長の熱い思いもあり、以前から子育て支援に重点を置いた取り組みをされている。人口減少とりわけ出生数の低下に危機感を抱かれ、また勝山市の特徴として共働き世帯が多いことが背景にあるようだ。 【主な特徴ある事業】 ○児童センター利用料無料(全小学校) ○放課後児童クラブについて定員を設けず無料で運営されている。 ○子ども医療費について、中学校終了まで無料。 ○すくすく育成奨励金、平成 29 年度より第 3 子以上の出生に対して 20 万円の育成奨励金の支給。 ○児童インフルエンザ予防接種費用の助成、1 人 1 回につき 1,000 円助成、小学生、年 2 回、中学生、年 1 回 ○にこにこ妊婦奨励金、妊婦検診を福井勝山病院で 1 回目から受診し、県内の病院で出産した場合 10 万円支給。
考察・効果	○本市と人口規模や財政規模が異なるので、全てを参考にする事は出来ないが細かな部分まで配慮された施策を展開されていると感じた。 ○令和元年 10 月から幼児教育、保育の無償化がスタートしたが、勝山市は保育料についてこれまでの国の基準より 4 割程度安く、福井県トップの軽減率で、第 3 子以降は就学前まで無料である。今後どのような影響があるのか気になるところである。 ○特徴ある施策を展開するには、市長の強い意志を発信することが必要であると改めて感じた。
政策提言への反映 ・本市での施策実現に向けた比較研究(効果及び課題)	○勝山市は「子育て支援日本一」のスローガンを掲げられ努力されている姿は素晴らしく参考になった。 ○各種事業において、子育ての悩みや親子の交流の場を提供し、楽しみながら子育て情報の交換や関係機関との連携を行っている。また、県と連携した子育てマイスターによる出前講座なども開催されている。 福知山市においても、インパクトのある明確な指針を示し、目標、目的を設定して内外に発信する必要性を感じた。

視 察 日	令和元年 1 1 月 8 日 (金)
視 察 先	福井県大野市 人口 33,000 人 (令和元年 1 1 月 8 日現在) 市面積 872.4 km ² 議員定数 18 人
調査項目 施策・取組等	有害鳥獣対策について
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	四方を山々に囲まれ、872.43 km ² の面積がある大野市における有害鳥獣被害の現状や、駆除部隊の状況・処理施設の内容などの視察を行った。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	<p>○被害金額、被害面積ともイノシシが最も多く、約 8 割を占めている。本市で多くの捕獲があるシカの被害や出没は軽微のようである。</p> <p>○高い山が多く、シカが人里まで降りてくることは少ないようで、熊がシカを食べているのではないかと言われていた。最近は特に熊の目撃が多くなっている。</p> <p>○今年は豚コレラの発生で、イノシシが殆どいなくなった。</p> <p>○山際集落のほぼ全体(18 万メートル)を電気柵で囲む対策を重点的に講じている。</p> <p>○山際集落と市が協定を結び、捕獲部隊員と地元住民が協力して檻を設置し、捕獲を行っている。</p> <p>○カワウ、カラスについては追い払いや捕獲活動を実施。</p> <p>○ニホンザルについては、近年被害の相談が増加。大型のサル檻を導入して捕獲の強化を図っている。</p>
考察・効果	<p>○大野市は福井県猟友会大野支部 61 名、和泉支部 12 名の会員の事務局を担っている。その中で大野市有害鳥獣捕獲隊 50 名と大野市鳥獣被害対策実施隊(市職員 38 名、猟友会 8 名)を編成し、被害の実態に合わせた計画的な捕獲を実施。</p> <p>○高齢化や後継者不足の課題がある。</p> <p>○大野支部には女性が 6 名加入しており、狩猟技術は先輩(猟友会員)に付き添い、一緒に行動し身につけている。</p> <p>○地域おこし協力隊として、鳥獣害対策専門に 1 名おり狩猟の魅力を発信し猟友会の会員増加に貢献している。</p>
政策提言への反映 ・本市での施策実現に向けた比較研究(効果及び課題)	<p>○地形の違いからかシカが少なく、イノシシ対策として電気柵設置を重点的にされているのは意外だった。</p> <p>○市職員が深く関与していることや女性隊員が頑張っていることに興味した。</p> <p>○本市の焼却施設を仮に分解型の処理装置にした場合、大野市の 10 倍の規模となるがランニングコストを考えると高いものではないと感じた。</p>



勝山市 視察研修の様子



大野市 視察研修の様子

